



イノベーションプロセスにおいて開発リーダーに求めること Requirements to the R&D Leader along an Innovation Process

稲塚 徹

Toru Inazuka

ダイキン工業株式会社 テクノロジー・イノベーションセンター 副センター長
Deputy General Manager, DAIKIN INDUSTRIES, LTD
Technology and Innovation Center

日時: 2016年10月13日(木) 14:55-16:40
会場: 東京大学工学部2号館2階223号講義室
授業科目: 工学リテラシーⅡ(科目番号3799-150)

要旨

概要:

イノベーションの創出には、無から有を生み出す「発想」の段階から、発想したアイデアを顧客が安心して使える商品・サービスへと具現化していく「仕上げ」の段階まで、長いプロセスがある。楽しくもあり辛くもあるが、開発リーダーには、そこに関係者の多様な知識、経験と、陰日向からの多大な努力が混然一体となって集うことを忘れて欲しい。そして、「発想」から「仕上げ」の段階へとプロセスを移行する際には言わば「攻め」から「守り」への切れ味よい思考転換とリーダーシップとが求められる。ここで、「攻め」と「守り」の思考を激しく葛藤させればさせるほど、本当の意味での社会に役立つ新たな価値を生み出し、人々に大きな感動をもたらすことができる。このことを、弊社研究開発現場を事例にお話したい。

